

STAGE+を楽しむ(37)(HP 収載)
—ラフマニノフ&ベルリオーズ—

1. 始めに

前報(36)に引き続き、STAGE+のヴェルビエ音楽祭 2023 のユジャ・ワンとメータのラフマニノフ&ベルリオーズの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ヴェルビエ音楽祭 2023 のワンとメータのラフマニノフ&ベルリオーズの演奏を選びました。

ライブ配信 2023 年 7 月 15 日 1:30

ワンとメータのラフマニノフ&ベルリオーズ

ヴェルビエ音楽祭 2023

1. 再配信 2023 年 7 月 15 日 9:00

2. 再配信 2023 年 7 月 15 日 20:00

ラフマニノフ生誕 150 年の今年、ユジャ・ワンがヴェルビエ音楽祭でラフマニノフのピアノ協奏曲第 3 番を披露します。この協奏曲は、彼女が最初に学んだ協奏曲で、ホロヴィッツがメータと録音したこの曲を聴いてインスピレーションを受けたといいます。ワンは、ヴェルビエ音楽祭という場で、メータとこの曲の共演を叶えることとなりました。スリル満点のラフマニノフのあとは、メータとヴェルビエ祝祭管弦楽団による、ベルリオーズの《幻想交響曲》をお楽しみいただきます。

ソリスト:

ユジャ・ワン (ピアノ)

アンサンブル:

ヴェルビエ音楽祭管弦楽団

指揮:

ズービン・メータ

曲目:

セルゲイ・ラフマニノフ ピアノ協奏曲第 3 番ニ短調 op. 30

ユジャ・ワン(ピアノ)

エクトル・ベルリオーズ 幻想交響曲 op. 14



2023年7月15日 9:00の再配信を試聴しましたが、受信は安定していました。ヴェルビエは、フランスとイタリアに近い山岳リゾート地で、ヴェルビエ音楽祭はここで開かれる音楽祭です。ヴェルビエは、スイスではフランス語圏のようで5名から最初にフランス語とフランスなまりの英語での挨拶や祝辞のようなことが30分にわたって述べられました。

今回も、LAN iSilencerの導入(9)で報告のとおり、LAN iSilencer2個が追加されています。

ユジャ・ワンのラフマニノフはSTAGE+を楽しむ(35)でもグスターボ・ドゥダメル指揮ロサンゼルス・フィルとウォルト・ディズニー・コンサートホールでの共演を報告しています。オーケストラ違いとアメリカとスイスのリゾート地という場所柄の違いでどのように演奏が変わってくるかに興味がありました。

ユジャ・ワンのしなやかで切れ味の良いピアノはSTAGE+を楽しむ(35)と同様で、LAN iSilencer2個のおかげでピアノの音もリアルです。オーケストラの方は、メータの抑制的な指揮もあって、ロサンゼルス・フィルのようなアグレッシブさはなく、ラフマニノフらしいメランコリックな表情もでていました。

アンコール曲はラフマニノフのヴォーカリーズともう1曲曲芸的な演奏の曲でした。



幻想の方は、聴きなれた曲ですが、オーケストラのメンバーが若く、どうかと思って聴いていましたが、老練なメータの指揮の下、よく頑張っています。ホールの特徴か、コントラバスの音階やティンパニの連打、グランカッサの一撃、チューバのソロなども明瞭に聴き取れました。



LAN iSilencer の追加の効果もあって本音楽祭の雰囲気味わえました。

以上